

# 寺崎組新聞

第四百十九号

## 夜でも朝でもお構いなし、絶え間ないヒルの攻撃 群馬組会報告

209回組会報告

ヤマビル(ヤマビル、山蛭)類ヒル目ヒルド科 陸生ヒルの一種(近年は里も含むよう)でヒトを含む大型哺乳類に付着して吸血。衛生害虫として扱われる。吸血性のヒル類としては日本本土で唯一の陸生ヒル。吸血による寄生虫や病原体の伝播は知られていない。見た目は茶褐色で栗色の縦縞模様。体長は25~35mm。伸び縮みが激しく倍くらいまで伸びる。弾力に富み、且つ丈夫で、引張ってもちぎれず、踏んでも潰れない。目は5対。吸盤は前部と後部があり、口の中の顎には細かな歯がある。肛門は後部の背面にある。動物の接近は吸盤の周囲にある器官で二酸化炭素や熱(体温)を感じする。体を直立させ、センサのようにしてブンブン振り回し得る物を感じする。(これが気持ち悪い)吸血の際は皮膚を食い破り血液凝固を阻害する成分(ヒルジン)を注入し、流れ出てくる血液を吸う。約1時間で満腹になり、地面に落下。落ち葉の下などに隠れ、往々に脱皮、産卵をする。

尚、人間の手のひら、足の裏からは吸血できないそうです。乾燥に弱い。気温は10℃以上であれば活動できる。成体は2年の絶食に耐える。飼育下での最長寿命は5年。雌雄同体。交尾を行う。皮膚に付いた場合はアルコールが効果的。近づけただけでも落ちる。その他、火を近づける。塩や塩分濃度の高い液体(食塩水濃度20%以上)食酢も効果があるよう。吸血された後の痒みに対しては、抗ヒスタミン剤が有効。アンモニア含有は症状を悪化させる恐れあり。以上を踏まえ、調べる三重の子供達が行なっている『ヒル研』こと、子どもヤマビル研究会の研究も面白いです。ヤマケイオンラインで読めます。

初日は晴 参加者は組長(XL125)、地下鉄さん(WR)、ゴ三浦さん(DR)、オガタさん(ジエベル)半蔵(CRF)5名。奥平温泉遊神館に集合。ここに集合という事は走る道は一つ。秋鹿大影林道です。割と長いです。群馬は走れるところが少ない。峠で長めの小休止の後、四万温泉まで下ります。林道終点、橋の手前でゴ三浦さんが雄撃ち。その時にやられたのかヒルに食われていたことに気づく。そこから私達のヒルとの戦いが始まったのかもしれない。

あとは万沢林道かと思いましたが、そつちまで行ってしまおうと何もなくて買い出しが大変ということ。中之条の町に下り、ピカピカのヤオコーで買い出し。再び秋鹿大影林道に入り、定宿でしょうか(私は初めて)鹿キャンプ場が今日の宿泊地。

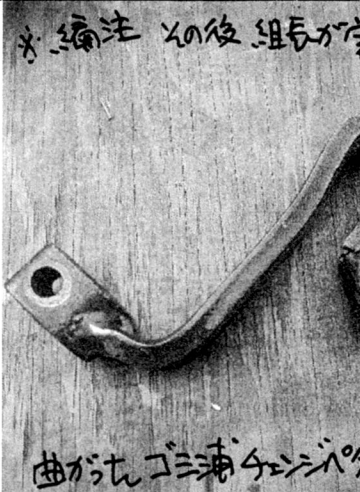


ヒルキャンプ場集合

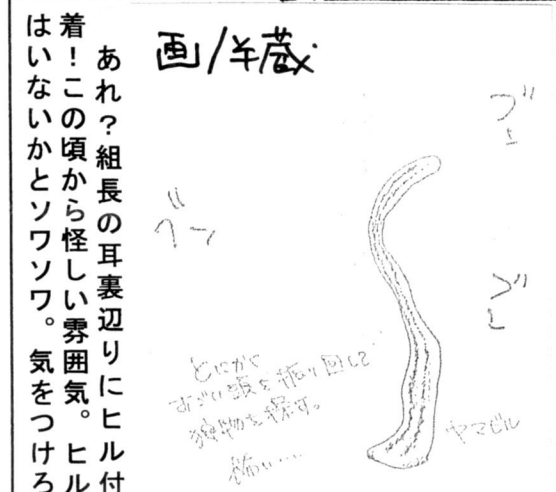
2日目は朝のち曇り 支度が済んだら秋鹿林道の方に下り、鹿キャンプ場を出て左へ。暗く怪しい道に突入。林道? 鹿道? もはや藪。左からの枝やらに当たりすぎてミラーなくなる(畳んどけよ!)交換したばかりだったんだだけども、そこそこうらやましい。猿

ケ京温泉の方に出了。ビックリ。少し国道を走り、赤谷スキー場脇の林道に入る。昔だらけの舗装林道で怖すぎる。ガツガツゲートの横を後輪を走らせる。鉄塔の手前まで来ると大きく崖崩れ。通行不能です。組長曰く『昨日の秋鹿林道の峠のゲートの所まで繋がってのはず』だったと。やむなく引き返し。雨がポツポツ。カッパを着る。後輪を走らせる。カッパで待ってみるが来ない。音も聞こえない。雨が強くなる。しばらく待たない。オガタ捜索隊員出動!そして二人とも戻ってこない。いよいよ組長、地下鉄さんも出動。私は後輪を走らせる。ゲートに自信なく留守番。

事の次第は引き返してすぐゴ三浦さん、林道脇の倒木に引掛かり転倒。手首負傷し、バイク起こすことができず救助待ちしていたようです。シフトペダルはグンニヤリ。さながらフラミンゴの首だ!曲がったペダルを見せてもらったイメー。雨が強くなり初日宿泊地に戻る。昼食を摂りながら連泊決定となりまし



編注 組長が家で直した。曲がったゴ三浦さんのペダル



あれ?組長の耳裏にヒル付着!この頃から怪しい雰囲気。ヒルはいないかとソワソワ。気をつける

!よく見ると雨で元気になったヒルがワラワラ。昨日は何ともなかったのに!同じ場所なのに!んだん気をつけて見なくてもいいくらい出現率!怖い!怖い!ヒルに怯えながら寝床を作り、宴会場所にはブルーシートの屋根と床を。地下鉄さんの車とオガタさんの車に分かれて昨日のヤオコーに買い出しへ。こんなの初めて。とても楽。地下鉄さんヒルよけに食塩1キロ買。宿泊地に戻って宴会開始ですが、下に敷いたブルーシートも意味を成さないヒルの猛攻。地下鉄さんの塩を水戸泉ばりに撒き散らかす。そんな中ヒルに怯えながらも宴会はこなす寺崎組。

翌朝雨は止んでいましたがヒルはまだ元気。皆さんヒルを何匹か連れ帰って、7月の群馬組会は終了しました。

## あ?、テント忘れた! 余計な出費のいわき組会報告

210回組会報告

九月十四日(土)曇り 一日目 十一時過ぎ、ゴ三浦氏から「地下鉄がテントを忘れてきたので売っている店を教えてください」とのメール。記憶を頼りに売ってほしいという店を思い出し返信。その後、何の連絡もなく不安のまま出発して十分後、集合地の福島県いわき市好間町の「マルト好間店」に到着。怪しいスズキのバイクのオガタ氏、遠路浜松よりカブの村松岡氏、怪しいホンダのバイクのゴ三浦氏、ラリー使用のいつものRedの三瓶氏を確認。ゴ三浦氏曰く、「地下鉄氏はメールで教えた店にテントを買いに行っている」との事。安堵も束の間、ゴ三浦氏「ホームセンターに売ってない?」と。「その手があった」と自分の無知さに後悔。さてそんなゴ三浦氏にもトラブル。リアの左ウインカーが付かないとカバをを外し電球確認。フィラメントを見るが切れているのかよくわからないので、三瓶氏にも確認してもらった。するとヒューズ線が黒く焦げているのを発見する。過電流が起ったかと思われ、電球を切れていると推測。「替えの電球どこかで売ってないか」と言うので、すぐ近くにある「ホンダウ

イングリ」に徒歩で向かう。店長不在で買うのにこずった。「マルト好間店」に戻ると久しぶり参加のXR650Rの三浦2号氏とまともなバイクの組長が合流していた。早速ゴ三浦氏、電球交換に取り掛かる。付かない。結局は配線が原因と判る。荷物降ろして作業となる。大掛かりになるので、とりあえずこのまま明朝に直すことにする。元に戻した頃、黄色いカブに乗った地下鉄氏が到着。無事テントを購入できたが値段とメーカーにご立腹。ゴ三浦氏の「今回使ったメルカリに出せば?」との提案に納得。テントを汚さないようにパッキングし直す。十三時、いつものように夕食の買い出しに店内へ。ゴ三浦氏「今日は作る人が居るから」とあまり食材を購入せず三瓶シェフの料理を当てにする。酒類は一昨年の組会から隣の建屋の「酒のマルト」に行かねばならず、皆不平を漏らしながらも酒を購入し、各々荷物をパッキングし出発の準備をする。

十四時、出発。右折し、市道御台境町北好間線(旧国道四十九号線)を西進し、1.3km進みENOS脇の交差点を左折し、向町田交差点を右折し国道四十九号線を西進する。2.8km進み井田木交差点を左折し市道に入る。0.6km進み丁字路を左折し市道六十六号線を南下する。2.6km走り「モトクロス」の看板に従い右折し、舗装された山道に入る。「A」走り丁字路を右折し0.2km走ると「広町入敷林道」(舗装)に入る。薄暗い中、苔生えた舗装路を0.6km進み左折し「三大明神林道」に入る。舗装とダートが交互にくる。舗装には苔や落ち葉と泥の混合トラップがあり、ダート路面は縦溝があり気が抜けない。1.8km、「弘法も筆の誤り」を目の当たりにする。後続車、減速に悪戦苦闘。なぜか定かでは無いが舗装路面がツルツル。先頭を走る組長には青天の霹靂である。再始動を試みるがエンジンが掛からない。十四時二十五分、一旦休憩にする。バイクから降りた組員たちは氷上のような舗装路面で歩くのもままならず驚く。組長の無事と路面の状況を確認する。そして、ちよい先には道を塞ぐ倒木が見える。傍まで行くか路面の崩落も確認できる。通れらるか皆で議論する。「左の山側のラインなら行けるだろう。最悪、荷物を降ろせば通れるだろう。」と結論が出る。十四時四十分再出発。小さなバイクは楽々と倒木の下を通り、大きなバイクは荷物が引っかかる

り苦戦する。無事、全員通過を確認し再び走り出す。濡れた舗装では皆慎重になる。ダートでは藪漕ぎあり、深い縦溝の脇を通る。標高が上がるにつれ霧が濃くなり雲の中へ。登りが終わると舗装も終わり水分を多く含んだダートになる。2.4km走り「桐合折松林道」との丁字路を右折する。この林道も舗装とダートの繰り返し。稜線沿いになると水溜まりが多々あり。1km走ると視界が広がって丁字路へ。最近まで風力発電設置工事で、林道が拡幅され工事車両の重さで踏み固められ走りやすくなっている。右折し本線を進む。0.6km進むと右側に風車に続く新設された舗装の道があるが、バリケードで封鎖されている。本線はここから下る。最近使用されていないのか、両側の草木が張り出し路面も荒れている。1km付近の丁字路では伐採作業場を横目に左折し本線を下る。急勾配急の荒れた路面を0.4km下り「折松林道」との丁字路を右折し登る。ちよい荒れだが走りやすい。1.1km走りコンクリート路面がある丁字路を左折し支線に入る。草が路面の石を隠す。背の高い草の藪漕ぎをして0.8km走り一昨年の一泊目と同じザトウムシの住処の野宿地に十五時十五分に到着。本日走行距離22.1km。



休め切り

辺りに霧が立ち込める中、各々生えていた草を刈ったり均したりしてテントを設置する。地下鉄氏「ポールが重たい」「テントの中真暗」と本日購入したテントを愚痴る。十六時の時報で解禁。乾杯し労をねぎらう。早速、蓋を開けただけの料理?が回り出す。三瓶氏は期待通り、手の凝った料理を回す。ゴ三浦氏が



つもの福島の方言いじりを始めると「福島県には浜通り、中通り、山通りがあつて」と...

つもの福島の方言いじりを始めると「福島県には浜通り、中通り、山通りがあつて」と...



九月十五日(日)曇り

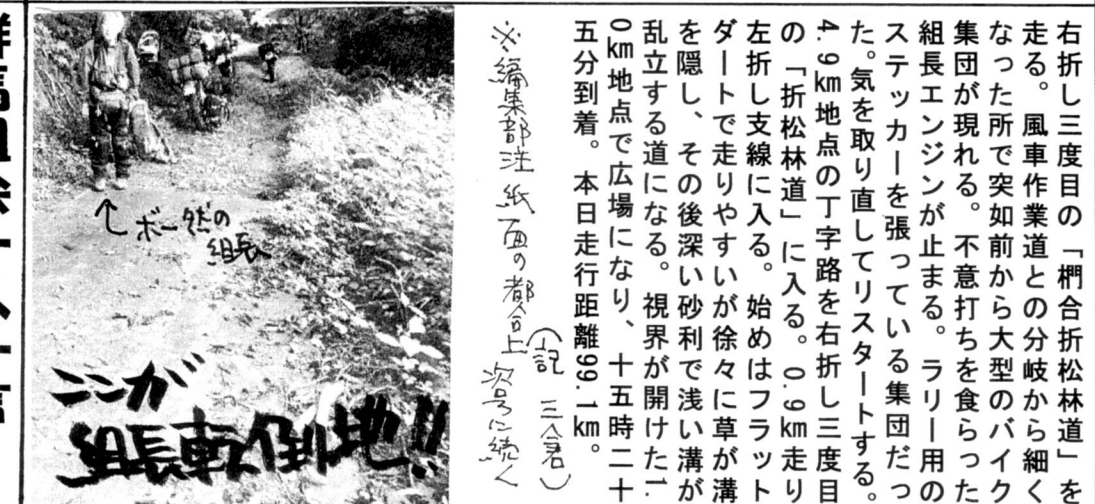
九月十五日(日)曇り... 二日目 深夜二時半頃、肌寒くて目が覚めると「なんか光っている」と...

石林道に出る。出口には材木の集積場がありバイクを降りた組員が積み重なった材木を背に組員の車をカメラに収める...

自分との物と交換する。「今日ほとんど雨降るの？」と三浦2号氏の視界の先には雲の切れ間から青空が見える...

初めまして! (オガタ) ●成り行きとは言葉に塾なのに、二泊とも車中泊になってしまいました。 (地下鉄) ●不覚にも、大転倒で負傷。年を取ると治りが遅いです。(ゴ三浦)

群馬組会一人一言 ●雨にやられました。(オガタ) ●成り行きとは言葉に塾なのに、二泊とも車中泊になってしまいました。 (地下鉄) ●不覚にも、大転倒で負傷。年を取ると治りが遅いです。(ゴ三浦)



群馬組会一人一言

三浦三三 (三三三)

寺崎組新聞

第149号

2024年(令和6年)

11月吉日

寺崎組新聞